

助成活動実績報告書

| | |
|-----|---|
| 企画名 | 『ワイルドライフ ウォッチング』 岡山の野生生物はどうなっているのか？－その生態を地元住民と調査し、人間との関係を見つめる |
| 団体名 | 岡山野生生物調査会 |

①活動の目的について

岡山の自然・野生生物に興味を持つ人と地元住民が、共にフィールドワーク（現地調査）を体験したりいろいろな経験や知識を持つ専門家とが共同で調査したりすることで、身近な自然のすばらしさや地域の人々の豊かな経験や文化等を共感することを本事業の目的とした。

②内容について 本年度の主な活動等

- 1月23日 野鳥（カワセミ）観察会
- 2月26日 宇甘西地区猛禽類調査、春の野草（セツブンソウ）観察会
- 4月29日 写真展開催（操山公園里山センター ～5月29日）；出品数約70点
- 5月10日 ゲンジボタル幼虫の上陸の様子観察会（岡山市・大野）；参加会員5名
- 6月3日 ウミボタル観察会（倉敷市・児島 同10日、7月16日）
- 6月11日 ホタル観察会（岡山市・河原）；参加者約60名（親子で観察）
- 6月18日 「ネットワークのつどい」（おかやま環境ネットワーク）で活動報告
- 6月29日 夜間トラップ調査会（岡山市・中牧）；参加者11名
- 7月17日 「旭川源流大学 in 新庄村」一般の部実施；参加者42名
- 8月10・11日「旭川源流大学 in 新庄村」中学高校生の部実施；参加者約60名
- 8月26日 オオシロカゲロウ発生観察・継続調査（岡山市・旭川 ～10月上旬）
- 10月29日 大野川・宇甘川流域生き物調査；参加者約100名
現地にて、ナガレホトケドジョウ（大野川）、スジシマドジョウ山陽型（宇甘川）を確認する。
- 11月13日 シカ出現痕跡調査（苫田鏡野・富白賀川上流）；参加者7名
白賀川源流部の道路沿いで、高木もあるが見通しの良い灌木（低木）帯を調べ、糞の分布と大きさ、その新旧の様子や足跡から群れの動態を推測し記録する。
- 11月27日 「ヤマトビイロトビケラ」観察会；参加者14名 ※映像資料参照
11月9日より、成虫の発生を確認していた。当日は、野崎氏を講師に招き野外での雌成虫の生態と卵塊を調査した。

③この活動によって達成された成果

「ゲンジボタル成虫の上陸の様子観察会」

ゲンジボタルの観察（6月上旬）の約1月前、降雨の夜、幼虫が蛹化のために上陸の様子が見られる。成虫の観察は多くの場所で行われているが、地域の住民等のホタルの生態についても関心が高まっていることがうかがわれた。

「旭川源流大学 in 新庄村」（一般の部）

旭川の源流部の一つである新庄村の豊かな自然を体感してもらうことと、地域の住民との交流を目的に「自然観察」「森林セラピー」「もちつき体験」等を計画・実施した。

「旭川源流大学 in 新庄村」（中学高校生の部）

“一般の部”で参加者と共に自然調査を経験した大学生は、森林や河川の価値に気付いただけでなく、資源としての山の整備に携わることができた。また、中高校生は大学生や専門の先生方と調査しその成果を発表する活動から、主体的に研究・活動する意欲を得た（アンケート等から）。また、地元の方と接し共同作業をすることで、森林保全の熱い思いを知ることができた。

「オオシロカゲロウ発生観察・継続調査」「大井川・宇甘川地域生き物調査」「ヤマトビイロトビケラの観察会（生態調査・研究）」

「オオシロカゲロウ発生観察・継続調査」「大井川・宇甘川地域生き物調査」の観察と調査は継続しているものであり、昨年の二度の台風による出水で河床が大きく変化して生物の激減が予想された。とくに後者では、地域住民も見守る中で行われた。しかし、大きな変化は見られなかった。

また、「ヤマトビイロトビケラの観察会（生態調査・研究）」では、6月以来新たな生息場所（岡山市・中牧）での予備調査（成虫、筒単の発見場所から生息環境の予想等）を行い、野外での蛹化の様子や雌成虫の行動、交尾、卵塊の発見など成果を得た。本年度の生態調査・研究は大学生の卒業論文に繋がり、今後の研究や地元住民への説明、協働の環境保全の活動にも発展することが予想される。

④今後の計画・展望について

源流域から中流域、河口域へと続く旭川の豊かな自然の営み、いろいろな生物の今の様子を調査・観察することができた。さらに、溪流の生き物や陸生の生物（ヤマトビイロトビケラ・ヒメボタル等）を育む藻類や土中の生き物等にも関心が向けられるようになってきた。そこに生息する生物やその生態についての情報は多岐にわたり専門性を必要とする。そのため、今後とも、本会独自の観察・調査活動を進めるのみならず、多くの専門の先生方や興味関心のある地域の方々、大学生や研究団体等と連携を図りながら進める必要を強く感じた。

そのために、調査・観察した情報やそれぞれの地域住民の思いは、大切な文化・財産として共有していきたいと考えている。

⑤写真等参考資料

新庄村「源流大学」説明会



「セラピーロード」



「源流大学（一般の部）」



「源流大学」



シカ痕跡調査（糞）



ヤマトビイロトビケラ調査



ヤマトビイロトビケラ観察会 1



同 2



同 3

